

## やさしいサービス

利用無料

※変更・中止となる場合があります。  
最新の情報はWebサイトをご覧ください。

## 託児サービス

鑑賞中に専門スタッフがお子様をお預かりします。  
・会期中の第2・第4の木曜日・土曜日 午前10時～12時  
・6ヶ月児～未就学児対象  
・要事前申込み(利用の3日前までにTEL 0250-25-1300)

## こどもタイム

美術館内に音楽が流れるので、会話しながら鑑賞できます。  
・会期中の第1・第3の木曜日・日曜日 午前10時～午後1時

## 月曜開館日

通常休館日の月曜日を、各展覧会1～2回程度開館いたします。

## 施設サービス

- ベビーカー、車イスの貸出し(無料)
- 授乳対応室あり(スタッフにお声がけください)
- おむつ替えシート(トイレ内)
- コインロッカー(無料、100円返却式)
- バリアフリートイレ
- 筆談OK
- 補助犬同伴可

## cafe 2F 新津美術館

ハンドドリップで丁寧に淹れたコーヒーと共に鑑賞の余韻を楽しむカフェ

営業時間／  
午前10時30分～午後4時00分(L.O.)  
定休日／月曜日(臨時休業あり)  
[Instagram] @cafe2f\_

### cafe 2F

Niitsu Art Museum

MENU(税込)		
ハンドドリップコーヒー	500円～	米粉ビスコッティ 165円
カフェラテ	600円	バウムクーヘン 165円～
ココア	440円	自家製プリン 440円
クラフトコーラ	660円	あんぱたートースト 440円 他



# EXHIBITION SCHEDULE

## 新潟市新津美術館

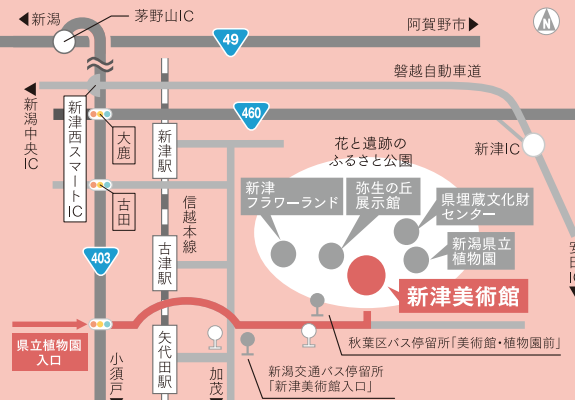
## 展覧会のご案内 2023 - 2024



荒井真紀「まどのむこうのくだものななに?」(部分)2018年  
プラチスラバ世界絵本原画展  
[9月9日(土)～11月5日(日)]に出品予定



## 新潟市新津美術館へのアクセス



## 周辺駐車場



- JR 古津駅から徒歩約25分/矢代田駅から徒歩約35分。
- 新津駅からタクシーで約15分/矢代田駅からタクシーで約5分。
- 新潟方面から、国道49号線を国道403号線加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km、約45分)。
- 磐越自動車道、新津ICから約20分/新潟西スマートICから約15分(新潟西スマートICは会津若松方面の出入りはできません)。
- JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」下車、徒歩約5分。
- JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「新津駅行」に乗車約5分、「新津美術館入口」下車、徒歩約5分。

## 秋葉区バス ※美術館は10:00開館、17:00閉館(観覧券販売は16:30まで)

新津駅東口発(西口行)				新津駅西口発(東口行)			
バス停	2便	4便	6便	バス停	3便	5便	
新津駅東口発	9:25	13:10	16:35	新津駅西口発	11:00	14:45	
美術館・植物園前	9:49*	13:34	16:59*	矢代田駅前	11:49	15:34	
矢代田駅前	9:56	13:41	17:06	美術館・植物園前	11:56	15:41	
新津駅西口着	10:45	14:30	17:55	新津駅東口着	12:20	16:05	

## 新潟交通バス

新潟交通観光バス(新潟東営業所)にお問い合わせください(Tel 0256-86-3355)。

## 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1  
(花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり)  
[TEL] 0250-25-1300 [FAX] 0250-25-1303  
[MAIL] museum.ni@city.niigata.lg.jp  
[URL] https://www.city.niigata.lg.jp/nam/  
[Facebook / Twitter / Instagram] @niitsuartmuseum  
開館時間／午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)  
休 館 日／月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)



## 貸施設利用のご案内

市民ギャラリー 面積290㎡(共有通路含む)  
展示区画全面21.6m×7.9m×高3.73m

可動式の展示パネルで6つに仕切ることができ、6分の1区分から全面利用まで幅広く利用いただけます。

利用区分	利用料金
■パネル大 300円(幅6.0m/6枚)	6分の1利用 8,000円
■パネル中 200円(幅4.15m/10枚)	6分の2利用 15,000円
■取付照明器具 300円	6分の3利用 20,000円
	6分の4利用 25,000円
	6分の5利用 30,000円
	全面利用 35,000円



※1週間単位の料金(休館日も含む7日間、最長2週間まで利用可)  
※観覧料またはこれに類するものを徴収する場合は、利用料金5割増

レクチャールーム 面積110㎡

スクリーン、プロジェクター設備をもち、各種イベントに利用いただけます。30名程度の会議や100名程度の講演会が可能です。

■イス150脚、長机10台 無料

利用区分	利用料金	視聴覚機器設備一式
午前(10時～12時)	2,000円	1,000円
午後(1時～5時)	4,000円	2,000円
全日(午前10時～午後5時)	6,000円	3,000円

※1日単位の料金(連続した3日間まで利用可)

野外劇場 面積435㎡(舞台254㎡、客席181㎡)

観客300名収容可能な扇状の客席と、直径10mの円形ステージをもつ野外の円形劇場。コンサートや演劇、パフォーマンスの舞台として幅広く利用いただけます。(電源設備あり、音響や照明機器はお持ち込みください)

利用区分	利用料金
午前9時～午後5時	1時間につき 500円
午後5時～午後9時	1時間につき 1,000円

※観覧料またはこれに類するものを徴収する場合は、利用料金5割増

## 近隣の文化施設等

- 新潟県立植物園 新潟市秋葉区金津186 TEL 0250-24-6465
- 史跡 古津八幡山 弥生の丘展示館 新潟市秋葉区蒲ヶ沢264 TEL 0250-21-4133
- 新潟県埋蔵文化財センター 新潟市秋葉区金津93-1 TEL 0250-25-3981
- 新津フラワーランド 新潟市秋葉区古津891-1 TEL 0250-24-8787
- 公益財団法人 中野邸記念館(9～11月のみ開館) 新潟市秋葉区金津598 TEL 0250-25-1000
- 石油の世界館 新潟市秋葉区金津1172-1 TEL 0250-22-1400
- 新潟市新津鉄道資料館 新潟市秋葉区新津東町2-5-6 TEL 0250-24-5700
- 新潟市秋葉区文化会館 新潟市秋葉区新栄町4-23 TEL 0250-25-3301
- 里山ビジターセンター 新潟市秋葉区金津1193 TEL 0250-22-6911

## ダンスパフォーマンス等

アトリウム等でダンスパフォーマンスやコンサートのイベント等を開催します。

ネフライト  
NEphRiTE dance company×あるていすと によるダンス公演  
『くるみ割り人形とねずみの王様』

12/23(土)・24(日)

各日 昼・夜公演開催(1時間程度)計4回公演  
時間や料金の詳細はWebサイト等でお知らせします。

あるていすと公式Webサイト <https://www.arutisuto.net>



あるていすと劇場企画「MOMO」より

© verynakabayashi

## 美術講座

当館学芸員がテーマに沿って講座を行います。

## 新潟市内学校向けプログラム

### ■出前美術館

新潟美術館派遣の講師(作家等)が小中学校に出張して、図工・美術の楽しさを伝える授業を行います。

### ■教職員視察研修観覧

小中学校等の教職員を対象に、視察を受け入れています。図工・美術の授業等にご活用ください。

## 観覧料免除について

- ・障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料(受付でご提示ください)。
- ・児童福祉法および学校教育法に規定する新潟市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校又は特別支援学校の児童生徒、引率者が教育課程に基づく教育活動として展示を観覧する場合、観覧料を全額免除します。事前に「新潟市新津美術館観覧料等免除申請書」をご提出ください(ただし引率者とはその学校の教職員に限りません)。

イベント等の情報は変更することがあります。  
最新の情報は当館Webサイトをご覧ください。  
お問い合わせください。



展示会や事業の内容、料金等は変更することがあります。

あっちも割 新津美術館・新潟市美術館では、互いの企画展観覧券のご提示によりもう一方の企画展を団体料金でご覧いただけます(1枚につきお一人様1回限り1年間有効)

## 佐川美術館コレクション 平山郁夫が描く 世界遺産展

／4/15(土)～6/18(日)

日本画壇を代表する画家、平山郁夫(1930～2009)。平和への祈りを込め、仏教伝来やシルクロードを生涯のテーマとして創作活動にあたりました。世界各地の文化財保護に心血を注いだことでも知られており、各地の文化遺産を視察や調査で訪れた際に取材し、制作した作品も多く残しています。

本展では佐川美術館(滋賀県)が所蔵する平山作品から、世界各地の文化遺産を描いた74点をご紹介します。また、世界遺産登録を目指す「佐渡島の金山」についての展示も併設します。



平山郁夫  
《月下シルクロードを行く》  
2001年 佐川美術館蔵

◎休館日／月曜日(4/24、5/1、6/12は開館)  
◎観覧料／一般当日 1,000円

## 生誕140年 ユトリ口展

／7/1(土)～8/27(日)

20世紀前半、哀愁漂うフランスの情景を描いて一世を風靡した画家モーリス・ユトリ口(1883～1955)。生まれ育ったパリの街並みや酒場、教会などを写し取った油彩画を生涯に渡って制作し続けました。1928年にレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受章し、日本国内でも数多くの個展が開催されています。

本展では日本国内のコレクション約70点から、絵画制作を始めた「モンマニー時代」、卓越した白壁の描写が花開き人気の高まる「白の時代」、色使いが豊かに変遷する「色彩の時代」、そして晩年の作品までを展示し、画家ユトリ口の生涯を辿ります。



モーリス・ユトリ口  
《可愛い聖体拝受者》、  
トルシー=アン=ヴァロアの  
教会(エヌ県)  
1912年頃  
©Hélène Bruneau 2023

◎休館日／月曜日(祝日、7/24、8/14は開館) 7/18(火)  
◎観覧料／一般当日 1,200円

## 笹岡了一と新潟光風会の作家たち

／2024.1/20(土)～3/10(日)

新津美術館は、1992年に旧金津村出身の画家・笹岡了一(1907～87)の絵画163点が当時の新津市へ寄贈されたことを契機として、97年に金津地区の現在地に開設されました。今では800点を超える規模となった所蔵品の中でも、笹岡の作品群は当館にとって象徴的な存在であり続けています。

本展では、新潟の美術振興にも多大な功績のあった笹岡の画業を振り返るとともに、所縁深い新潟光風会の画家たちの作品を、当館の所蔵品を中心に展示。新潟県美術家連盟や新潟市美術協会でも指導的な役割を担ってきた画家たちの作品と合わせてご覧いただけます。



笹岡了一  
《放蕩息子の帰宅》  
1963年 当館蔵

◎休館日／月曜日(祝日、2/19、3/4は開館)  
◎観覧料／一般当日 500円

## 第17回秋葉区美術展覧会

／11/18(土)～11/26(日)

会期中無休／午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)  
秋葉区に在住、勤務する市民による総合的な美術の展覧会。

## 第19回新潟教育アート展

／2024.1/4(木)～1/13(土)

休館日 1/9(火)／午前10時～午後5時  
下越美術教育研究会との共催による、新潟県内の幼稚園、保育園、こども園、小・中・義務教育・中等教育学校、高校、特別支援学校の作品展。

### 2023-2024 SCHEDULE

Calendar showing dates for various exhibitions from April to March. Legend: ○印は、月曜開館日. Legend items: 佐川美術館コレクション, 平山郁夫が描く 世界遺産展, 生誕140年 ユトリ口展, ブラチスラバ世界絵本原画展, 絵本でひらくアジアの扉, 第17回秋葉区美術展覧会, 第19回新潟教育アート展, 笹岡了一と新潟光風会の作家たち, NEphRiTE dance companyによるダンス公演.

## 新津美術館コレクション展

### コレクション展Ⅰ 美術館で小旅行 4/15(土)～6/18(日)

アジア、アフリカ、ヨーロッパ。異国の光景や事物を描いた作品を展示します。小旅行をお楽しみください。



吉田志麻  
《青春ジャンボ》  
2013年

### コレクション展Ⅱ 白のエスプリ 7/1(土)～8/27(日)

涼しげな夏服、一面の雪景色、清らかな花、あるいは余白。作品に用いられた白の妙に注目します。



仲川猛  
《白い家》  
1993年

### コレクション展Ⅲ 心のビタミン 絵本原画 9/9(土)～11/5(日)

心の栄養とも言われる絵本。1997年のブラチスラバ世界絵本原画展出品を中心にご紹介します。



ヤーナ・キセコヴァ  
《アダムとイヴ》  
(部分)  
1994年

## 新潟市美術館の展覧会

■お問合せ／新潟市中央区西大畑町5191-9 TEL 025-223-1622

### 美術館に行こう!

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方  
4/8(土)～5/28(日)

### 富井大裕

みるための時間  
6/6(火)～7/17(月・祝)

### 「前衛」写真の精神: なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄  
7/29(土)～9/24(日)

### 第55回新潟市美術展

前期:10/11(水)～10/15(日)  
後期:10/18(水)～10/22(日)

### 発掘された珠玉の名品 少女たち

星野画廊コレクションより  
11/18(土)～2024/1/21(日)

荒井真紀  
《まどのむこうの  
くだものなあに?》  
(部分) 2018年

## ブラチスラバ 世界絵本原画展

## 絵本でひらく アジアの扉

／9/9(土)～11/5(日)

ブラチスラバ世界絵本原画展は2年ごとに行われる世界最大規模の絵本原画コンクールです。世界各国のイラストレーションが一堂に会する機会として、半世紀以上の歴史を歩んできました。本展では、2021年開催の同展に参加した日本代表15名と、韓国代表14名の作家たちによる絵本原画を展示し、両国の絵本の現在をご紹介します。

◎休館日／月曜日(祝日、9/25、10/23は開館) 9/19(火)、10/10(火)  
◎観覧料／一般当日 1,000円



出品作家:しおたにまみこ、あべ弘士、荒井真紀、荒井良二、飯野和好、うえだまこと、きくちちき、スズキキョージ、田島征三、たじまゆきひこ、館野鴻、中野真典、降矢なな、松本大洋、ミロコマチコ、他